

令和 7 年度定例会 3 月会議開会挨拶（令和 8 年 3 月 10 日開催）

定例会 3 月会議の開会にあたり、ご挨拶を申し上げます。

今年度の「町民と議員の懇談会」は、町民の皆様のご協力を頂き、例年通り 17 会場で実施、無事終わることが出来ました。意見を聞くことへ重点を置いた懇談会において、津波避難等の防災問題、熊対策、除排雪対策等多岐にわたる意見を頂きましたが、今年は特に、議会改革特別委員会で検討し、諮問会議で答申を頂いております、「議員定数」「議員の成り手不足」「議会改革の見直し」等について多くのご意見を伺うことが出来ました。

先般、町側へ実施報告書を手交しておりますが、課題等につきましては、議会としても調査をすることとなりますし、議会改革については、特別委員会の報告書を受けて、事務的に整理調整をし、規程の改正に向けて準備を進めて参りたいと思っております。

町民の皆様との懇談会を通じて、議会活動への理解が従前よりは浸透していると感じておりますが、依然として、「議会の役割」「議会と行政の仕組み」が、理解されず良くわからないとの意見も多く、情報をさらに周知・発信して欲しいとの意見もありましたので、引き続き気軽に交流できる機会を積極的に提供していきたいと思っております。

今、3 月会議は、町政執行方針に示された重要案件に係る各会計の新年度予算を審議する重要な議会であり、活発な議論が展開されます事を願っております。

政策については、行政評価に繋がる事を自覚し、計画精度を高める努力が必要であり、人口減少・高齢化が進行する中で、予測される厳しい財政状況に充分配慮、予算の目的・算定根拠を明確にし、理解を得て共通の認識を持つよう努めることも大事ですし、議会・行政ともに政策の過程をさらにわかりやすく町民の皆様を示していくことも大切です。

町づくり、議会両基本条例に基づき、町民との協働のまちづくりを目指す、行政・議会は、公正・公平を肝に銘じ、町民の模範となるよう規律を遵守、情報を適確に発信し、共有することもあらためて心掛けなければなりません。

議会としても、町民の負託に応えるため一層研鑽に励み、課題に向かって着実・果敢に活動を続けていかなければならないと思っております。

風も緩み春の兆しが見え始め、桜前線が話題となる時節となりました。

出席者各位には、健康に留意され、お体ご自愛の上、本定例会の議事運営にご協力いただきますよう、お願いを申し上げ開会の挨拶といたします。